

管理者  
必須コース

今、「管理者」から「リーダー」への変革が求められています。

管理者からリーダーへ

## 実践リーダーシップ研修

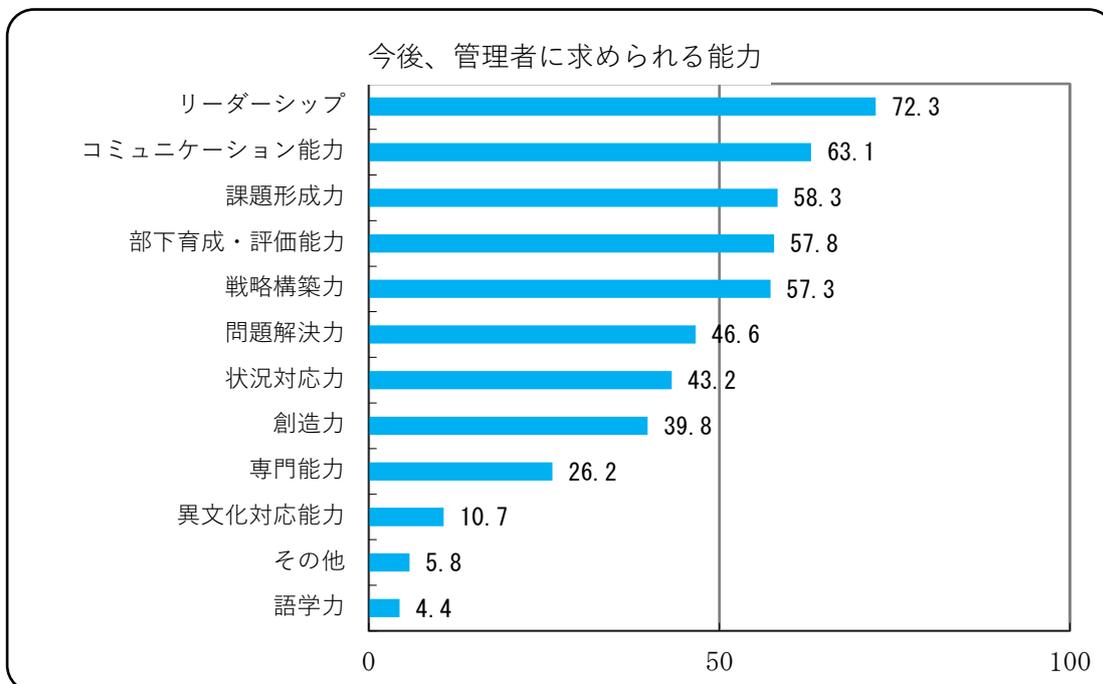
◎基本コース ◎S L IIコース

J M I

株式会社日本マネジメント協会（東部）

## ◎リーダーシップの現状は？

組織・集団にリーダーが必要なことは言うまでもありません。下記グラフにあるように、これからの管理者はリーダーシップが求められています。



しかし、多くの管理者はリーダーシップを発揮しているとは言えないのが現状です。

- 基本コースでは、「リーダーシップの定義」を十分に理解し、方向づけ（課題設定）と方向達成のための方策と実践のための意思統一の仕方を学びます。

ポイントは「課題設定」と「意思統一」です。

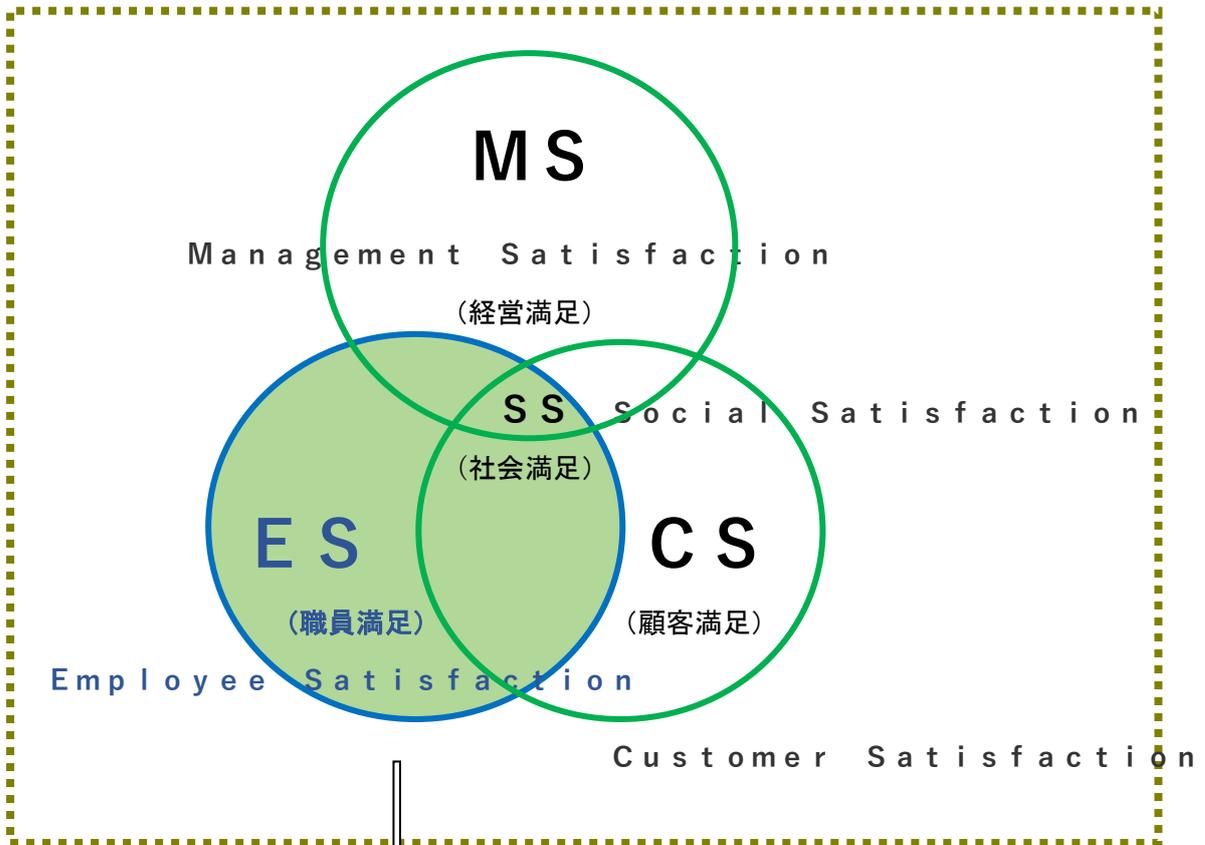
- S L II コースでは、既に設定してある方向・目標に向けて、部下の「能力」と「意欲」のレベルに応じてリーダーシップスタイルを変える必要があることを学びます。

S L II はリーダーシップというより部下指導と言っても良いかも知れません。課題設定の後にはマネジメントが必要になるのですから。

- リーダーに求められる能力や人間性などの資質についても学びます。上になればなるほど、姿勢や人間性などの「あり方」がリーダーシップを左右するのです。

参考

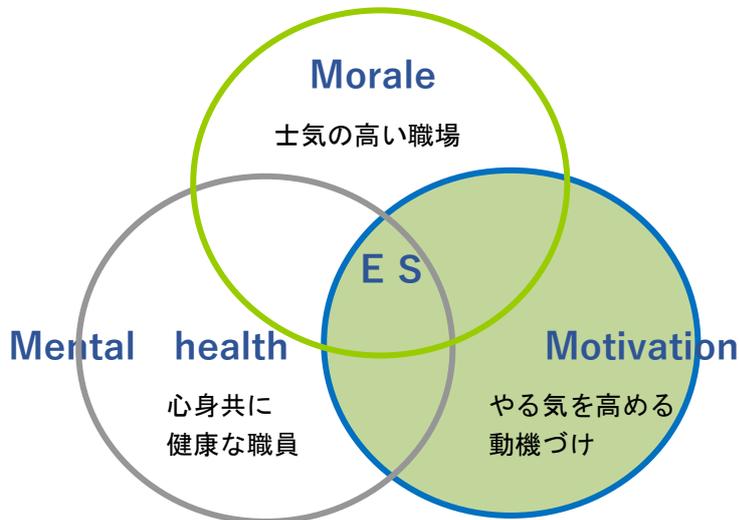
★MS、CS、ESの相関関係



MS（業績）の両輪は、CS（高品質サービス）とES（やりがい=職場活性化）である。

ESとは？

『職員のやりがいとやる気を促進して個人価値を向上させること』である。  
これが職場活力、顧客満足、経営満足を向上させる。  
リーダーシップとマネジメントの行動変革が必要。



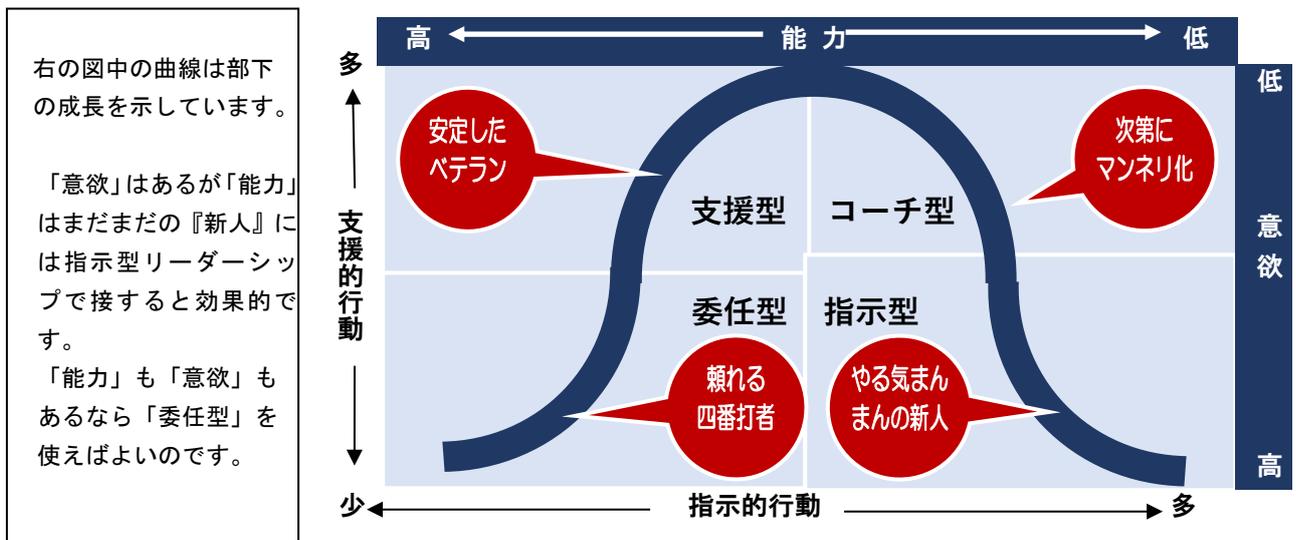
参考

★マネジメント（管理）とリーダーシップ言葉の違い

マネジメント	リーダーシップ
手法（How）	目的（What）
現状維持	創造
構造的	柔軟性
安定	変化
指示する	方向を示す
細部を見る	全体像を見る
統制する	鼓舞する
静態的	動態的
処理（管理）	変革
問題解決	問題発見

★SL II（状況対応II）研修

- ◎ 「指示」と「支援」を基軸として4つのリーダーシップパターンに分類出来る
- ◎ 部下の「能力」と「意欲」のレベルに応じてリーダーシップパターンを適応させる



## ◎基本コース

---

(対 象) 管理者、監督者

(日 数) 1日間コース (9:00~16:00)

(進め方) 講義、アンケート、討議、作業

(講 師) 株式会社日本マネジメント協会 マネジメントコンサルタント

(資 料) 講義テキスト、アンケート、討議・作業シート使用

(内 容)

はじめに： 導入講義

- 考え方で結果は変わる
- これからの管理者に求められる能力 (グラフ)

### I. リーダーシップが求められる時代

1. 経営の方向はMS、CS、ESそしてSSへ
2. ESマネジメント時代
3. 管理者からリーダーへ

### II. リーダーシップの研究

1. 従来型リーダーシップの基礎知識
2. リーダーシップの定義
  - グループ討議と発表
  - コメント
3. リーダーシップが必要なときとは (グループ討議)
  - 1) リーダーシップが必要なときのランキング (アンケート活用)
  - 2) 現状分析と課題設定
    - 現状の掘り下げ
    - 原因分析
    - 課題設定
4. リーダーシップのとり方
  - 1) 部門内意思統一の方法と宣言
  - 2) マネジメントサイクル (PDCA) の活用

5. リーダーに求められる資質・条件

1) 資質・条件のランキング（アンケート活用）

2) 個人価値 =  $C a n \times b e$

(1)  $C a n \times b e$

(2) 人間力とは

(3) エンプロイアビリティ自己チェック

6. 自部門における課題達成表と自己啓発プランの作成（個別作業）

質疑応答・まとめ

## ◎ S L II コース      Situational Leadership II（状況対応リーダーシップ II）

（対 象） 管理者、監督者

※基本コース受講者が望ましい。

（日 数） 1日間（9：00～16：00）

（進め方） 講義、アンケート、討議、作業

（講 師） 株式会社日本マネジメント協会 マネジメントコンサルタント

（資 料） 講義テキスト、アンケート、討議・作業シート使用

（内 容）

はじめに： 導入講義

●基本コースのレビュー

### I. S L II リーダーシップの基礎講義

1. リーダーの2つの基本行動（指示と支援）
2. 4つのリーダーシップのパターン
3. 部下の開発レベルに対応するリーダーシップパターン
4. リーダーシップ発揮のための考え方（講義）

## II. S L II リーダーシップパターンチェック

1. リーダーシップ自己チェックとパターン判定（個人作業）
2. リーダーシップ自己チェック（グループ判定）
3. 効果測定（個人作業）

## III. S L II リーダーシップの使い方

1. 事例研究 4 例（グループ討議）
2. オリジナル事例作成（グループ討議）
  - 討議、発表、コメント
3. リーダーの基本任務と求められるスキル
4. S L II 方式部下指導シート作成（個人作業）

## IV. リーダーに求められる資質と自己啓発

質疑応答、まとめ



この写真の作成者 不明な作成者 は CC BY-SA-NC のライセンスを許諾されています